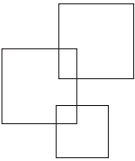


6月定例会では、6月12日から16日にかけて22人の議員が一般質問を行いました。
紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。



高齢者や障がい者、介護など、
本市の社会福祉政策について



公明党 谷之木 勇作

議員 本市で配置している手話通訳の人数について伺います。

福祉こども部長 障がい福祉課に手話の対応が可能な職員が1人配置され、週4日勤務しています。

議員 手話通訳オペレーターを介して手話で電話をかけられる電話リレーサービス「手話リンク」は、聴覚障がいなどの人が直接やりとりでき、多くの自治体で導入が進んでいます。本市でも導入すべきと考えますが、所見を伺います。

福祉こども部長 手話リンクは聴覚障がいの人との意思疎通を図るうえで有効な手段と考えますので、導入していきたいと考えています。

議員 放課後等デイサービスや児童発達支援の施設の利用に必要となる障害児通所受給者証を取得するまでの流れと発行する職員の人数について伺います。

福祉こども部長 保護者が市や相談支援専門員に利用を相談して市

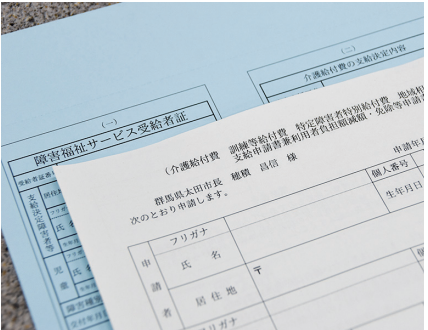
へ申請した後、聞き取りや面談、審査を経て支給決定通知と受給者証が発行されます。現在、受給者証の発行を担当する職員は3人います。

議員 受給者証の迅速な発行について、工夫や対策が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 遅れの原因を検証しながら、速やかに受給者証を交付できるような体制づくりを進め、改善していきたいと考えています。

■その他の質問

▷防災・減災への取り組みについて



本市のスポーツ施設の活用による
財源確保と生涯スポーツの
推進について



志友会 長 正祐

議員 本市のスポーツ施設を活用した広告事業やネーミングライツの展開について、市長の所見を伺います。

市長 施設の魅力を高めるとともに、地域の活性化にもつながり、維持管理費などの安定財源確保として有効な取り組みであるため、ぜひ進めていきたいと考えています。

議員 ボッチャやモルックといったニュースポーツや生涯スポーツの普及を通じて、市民の健康増進や健康寿命の延伸を図ることについて所見を伺います。

市長 適度な運動は健康寿命の延伸、介護予防、健康増進に寄与し、医療費の抑制にもつながると言われており、関係団体などの協力を得て、普及に取り組んでいきたいと考えています。

議員 認知症・介護予防施策として、「わくポ」を核としながら、スポー

ツイベントや地域活動、さらには、民間事業者との連携を一層強化し、市民が楽しみながら自然と健康づくりに取り組める仕組みを構築していくことについて、所見を伺います。

市長 本市が行うさまざまな取り組みへの参加促進には「わくポ」のポイント付与といった「参加インセンティブ」に加え、「伝わる行政」「使いやすい行政」を念頭に、「積極的に参加できる仕組みづくり」を検討していきます。また、官民連携やその活用が必要であり、連携して進めていきたいと考えています。



「自動車のまち太田」における
陸運局誘致及びご当地ナンバーを
活用したブランド強化について



志友会 松川 翼

議員 県全体と本市、東毛地域における自動車保有台数と登録台数の状況について伺います。

おおた未来戦略部長 関東運輸局によると、令和8年3月末の登録車は県が約102万台、本市が約12万台、東毛地区が約28万台です。

議員 本市には陸運事務所や登録関連機能がなく、市民や事業者が手続きのために他市へ移動する負担の認識と、今までの陸運機能の設置に向けた国や県への要望活動や協議の経緯について伺います。

おおた未来戦略部長 本県では、前橋市にある群馬運輸支局が県内全域の事務を所管しているため、手続き時の移動の負担はあるものと認識しています。国や県へは約20年前に旧太田市で陸運特区に関する申請などを行いましたが、認められなかった経緯があります。

議員 本市の強みである自動車産業を生かしたまちづくりを推進す

るため、陸運機能の誘致は大きな意義があると考えますが、陸運局の誘致と「自動車のまち太田」のブランド価値向上や地域経済効果について、市長の所見を伺います。

市長 本市が東毛地区内に自動車検査登録事務所を誘致できれば、市民や事業者の利便性は向上しますが、調整すべき点が多いため、研究していきたいと考えています。

■その他の質問

▷パラスポーツの推進について

▷地域活性化につながる国際交流の推進について



社会的養護経験者(ケアリーバー)
の自立支援について



志友会 岩瀬 僚

議員 児童養護施設や里親などの社会的養護を離れて自立した人を指す「ケアリーバー」への伴走支援の実施状況について伺います。

福祉こども部長 県では社会的擁護自立支援拠点事業の専門的な支援を実施しており、本市では一般の生活困窮者支援と同様に自立相談支援事業による支援をしています。

議員 ケアリーバーの自立を支える重要な施設である自立援助ホームについて伺います。

福祉こども部長 本市には1施設開設されており、入所措置は県が行い、本市独自の支援制度は設けていません。

議員 他市では自立に向けた経済的な支援が実施されている事例も踏まえ、本市においてもケアリーバーへの自立支援を行うことについて、市長の所見を伺います。

市長 生活準備金の支給や自動車運転免許取得費用の補助な

ど、実施に向けて準備を進めていきたいと考えています。今後もケアリーバーが地域の中で孤立することなく、将来に希望を持って自立した生活を送ることができるよう、支援の充実を図っていきたいと考えています。

■その他の質問

○地域や福祉分野でのeスポーツの活用について

▷eスポーツを活用した地域交流の促進について

▷eスポーツを活用した高齢者向けの健康活動について

